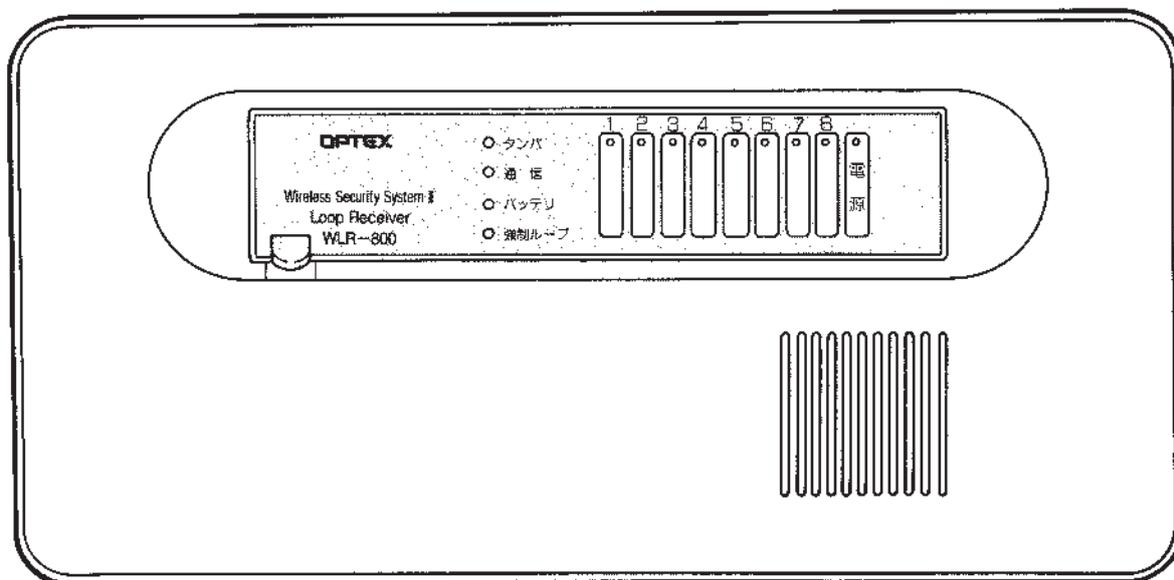


# ワイヤレスセキュリティシステムⅡ《受信器・主装置》

## ループレシーバー WLR-800取扱説明書

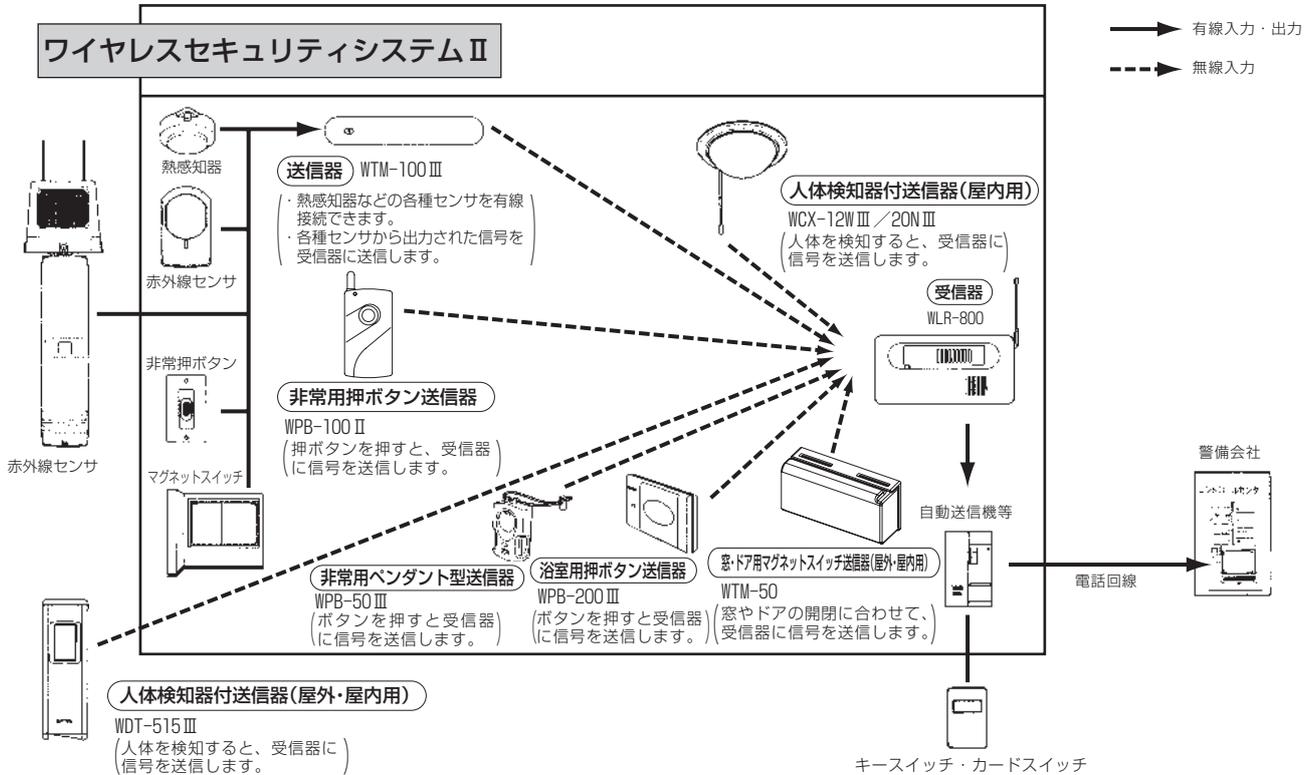
このたびは、ワイヤレスセキュリティシステムⅡ WLR-800をお買い求めいただきありがとうございます。ご使用になる前に必ず本説明書をお読みの上、正しくご使用下さい。

この説明書は、保守・管理の為に、システムの管理をされる方が、大切に保管して下さい。

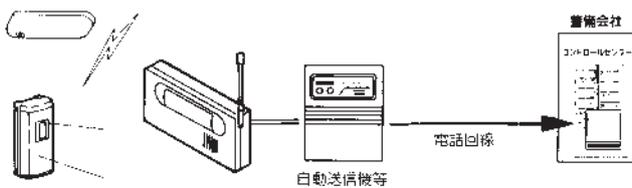


# はじめに

WLR-800（受信器：主装置）は、弊社ワイヤレスセキュリティシステムⅡの送信器（別売）と組み合わせて使用し、侵入・火災・非常通報等の信号を、小電力セキュリティ電波を使用して、電話回線に自動送信機等を介して緊急通報を行う為の装置です。その他の用途では使用しないで下さい。



## 電気通信回線設備への接続



この無線装置は電気通信回線に接続して使用するものです。ただしWLR-800(受信器)は自動送信機等(技術基準適合認定品に限ります。)を介して電気通信回線設備に接続して使用する為、利用する回線の種類は特定していません。WLR-800の自動送信機等(認定品)への接続は、WLR-800の無電圧接点出力端子(受信器の取扱い説明書、P5参照)を自動送信機等(認定品)のセンサ入力端子等へ接続してご使用下さい。

## 安全にご使用いただくために

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。



**警告**

この内容を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**警告**

火中に投棄しないで下さい。  
リチウム電池が内蔵されていて破裂する恐れがあります。

分解や修理は絶対にしないで下さい。  
火災や機器破損の恐れがあります。

## お断り

ワイヤレスセキュリティシステムⅡは侵入者や火災（別途専用センサを取り付けた場合）などを検知し、警報を発するもので盗難・火災などの防止機器ではありません。

万一発生した盗難・火災事故などによる損害については責任を負いかねます。

# 目 次

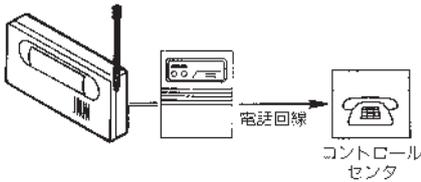
	ページ
1 おもな特長	2
2 使用上のご注意	3
3 各部の名称	4
4 端子の説明	5
5 フロントパネルの開閉方法	6
6 施工方法	7
7 埋込取り付け	7
8 アンテナの接続	7
9 機能と設定	8
9-1 システムコード	8
9-2 8ループ管理	
9-3 スーパーバイズド機能	
9-4 送信器の登録	9
9-5 送信器の(登録)抹消	
9-6 個別ループ出力	
9-7 総合出力	
9-8 アンド判別機能	
9-9 強制ループ機能	10
9-10 アラームメモリ	
9-11 タンパ異常出力	11
9-12 ローバッテリー出力	
9-13 通信異常出力	
9-14 通信管理解除機能	
9-15 異常チェック機能	
9-16 メモリバックアップ機能	
9-17 CPU・リセット機能	
10 表示灯の説明	12
11 動作確認方法	12
12 WL R-800の操作方法	13
13 異常時の点検について	14
14 システム設計ノート	15
15 仕様	16
16 外形寸法図	17

# 1. おもな特長

・ワイヤレスセキュリティシステムⅡ WLR-800はワイヤレスセキュリティシステムⅡの各送信器と組み合わせ  
てご使用下さい。

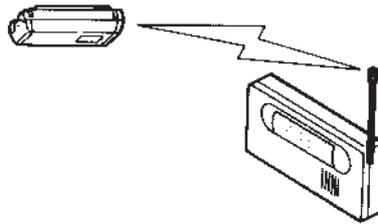
## 1. 電気通信回線設備への接続

この無線装置は自動送信機等（技術基準適合認定品に限ります。）を介して電気通信回線設備に接続して使用するものです。



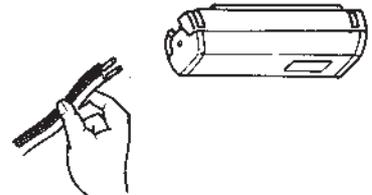
## 2. 小電力セキュリティシステム

ワイヤレスセキュリティシステムの送信器、受信器は小電力セキュリティシステムの無線局の無線設備ですので、市販の特定小電力トランシーバー、コードレス電話とほぼ同等の電波到達距離が得られます。



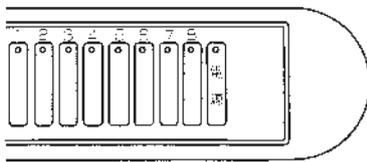
## 3. 設置が簡単

ワイヤレスなので配線工事を簡略化できます。送信器を何台設置しても配線の必要がありません。配線の引きまわしが無いので建物の美観を損ないません。



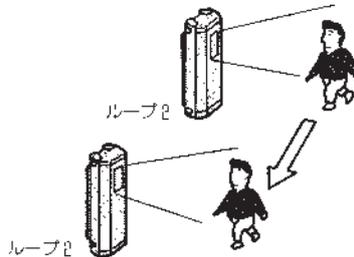
## 4. 8つのループ(8回路)の警戒・報知可能

8つの受信ループが用意されています。すべてのループに、表示と外部への無電圧接点出力があります。



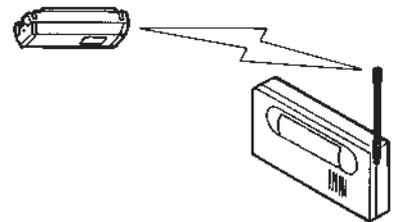
## 5. アンド判別機能

植木などがあり、その落葉の影響でセンサが誤報する場合、同一ループで2つ以上、センサが検知してはじめて警報を出力する機能のことです。こうすることで誤報を少なくすることが出来ます。



## 6. 無線送信器のループ管理可能

スーパーバイズド機能（定時送信）により無線送信器のループ管理が可能です。



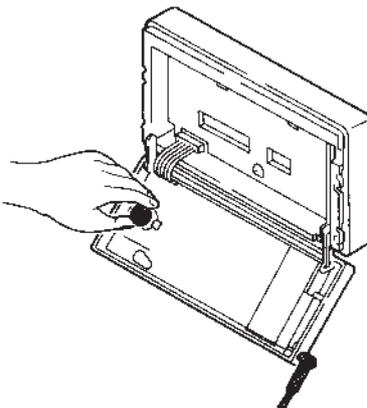
## 7. 3つの異常出力

送信器へのイタズラ（タンパ異常）、送信器の盗難・電波環境の変化（通信異常）、送信器バッテリーの交換時期（ローバッテリー）等の異常情報を自動送信機（認定品）を通じて、警備会社のコントロールセンターへ連絡します。



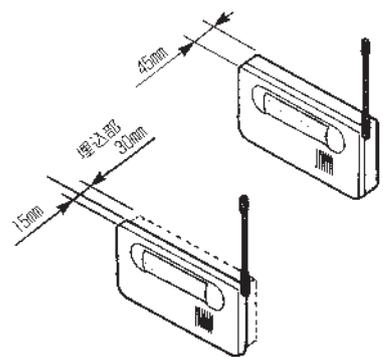
## 8. メモリバックアップ機能

リチウムボタン電池により、送信器の登録等のメモリ内容を停電時でも記憶しています。



## 9. 薄型更に、埋込対応

有線式の回路区分器（8～10回路）と比較しても凸45mm（投影面積は同等）は薄型です。更に埋込取り付けにより、壁からの突出は凸15mmになります。

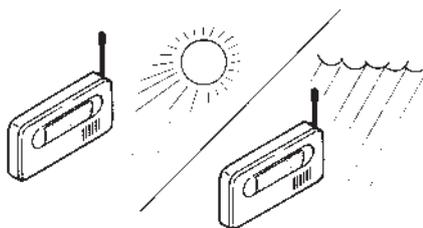


## 2. 使用上のご注意

ワイヤレスセキュリティシステムⅡを正しくご使用いただくために、下記の項目にご注意下さい。

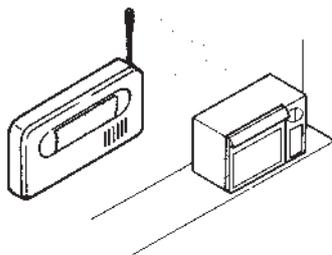
### 1. 屋外には取付けしないで下さい。

WLR-800は屋内専用機器ですので屋外では使用できません。屋外で使用されますと機器の故障の原因となります。



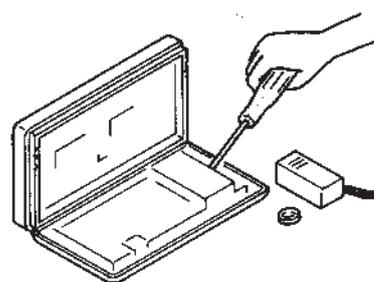
### 2. 他の電気製品のそばには取り付けしないで下さい。

ファックス、パソコン、テレビ、電子レンジ、モータを使用した機器などの電気製品のそばに取り付けますと正常に動作しない場合があります。



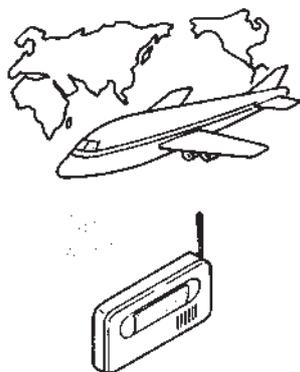
### 3. 本体を分解して内部を改造したりしないで下さい。

分解・改造は法律で禁止されています。又、機器の故障・火災の原因にもなりますので絶対に行わないで下さい。



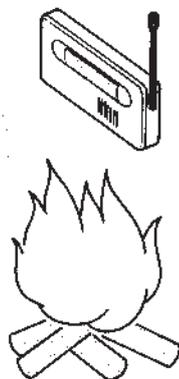
### 4. 海外で使用しないでください。

ワイヤレスセキュリティシステムⅡは日本の国内専用の機器です。日本以外の国で使用した場合、その国の法律で、罰せられることがありますので、絶対に、海外で使用しないで下さい。



### 5. 火中に投棄しないで下さい。

WLR-800はリチウム電池を使用しています。リチウム電池が破裂する恐れがありますので絶対に火中への投棄は行わないで下さい。



### 6. 従来のワイヤレスセンサシステムとは互換性ありません。

従来のワイヤレスセンサシステム（○-1FJ、○-2といったタイプのもの）とは互換性がないので使用することが出来ません。



### 7. 次の条件で使用しますと、電波の到達距離が100mより短くなる場合があります。

- 送信器と受信器の間にスチールドア、鉄筋コンクリートなど金属製の障害物がある場合。
- 送信器もしくは受信器の取り付け面が金属製の場合。
- 放送局などの強い電波を出しているところの近く。
- 高圧線などの電氣的ノイズが多い所の近く。
- 受信器のアンテナを立てていない場合。

### 8. 機器本体を落したり、強い衝撃を与えたりしないで下さい。

### 9. 機器本体が汚れた場合は、中性洗剤を含んだ柔らかい布でふき取って下さい。

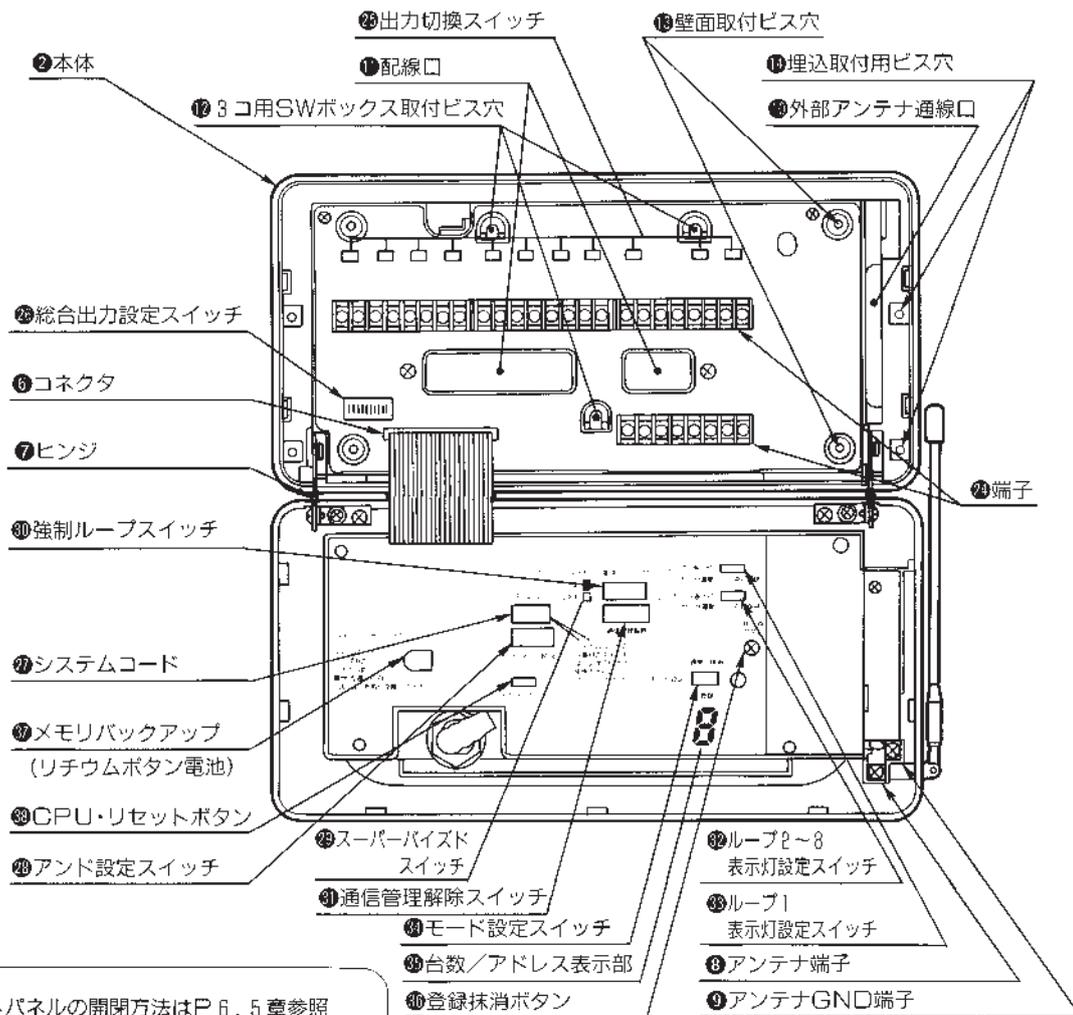
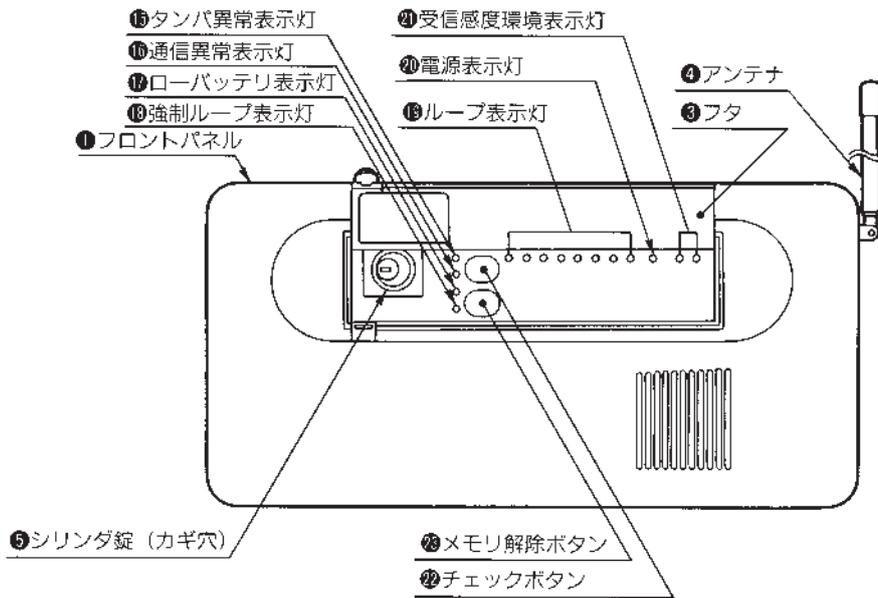
(シンナー、ベンジンなどの化学薬品は表面を傷めることがあります。)

### 10. メモリバックアップ用のリチウム鉛電池（型番：CR2032）は、必ず、8年毎に交換して下さい。

### 11. スイッチの設定(変更)を行った後は必ず“メモリ解除釦”を押して下さい。押さずに使用を開始しますと、スイッチの設定通りに、動作をしないことがあります。

### 12. システムを正常にご使用いただくために、定期的に動作点検を行って下さい。

### 3. 各部の名称

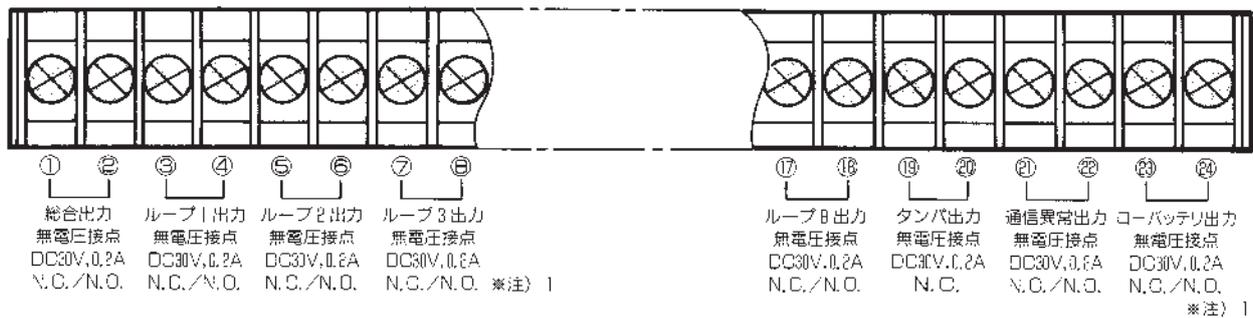


- ① フロントパネルの開閉方法はP 6. 5 章参照
- ②~⑩についてはP 7. 8 章参照
- ⑪~⑬についてはP 12. 10 章参照
- ⑭~⑯についてはP 10. 9-10・P 11. 9-15参照
- ⑰~⑱についてはP 5. 4 章参照
- ⑲~㉕についてはP 8. 9-1~P 11. 9-17参照

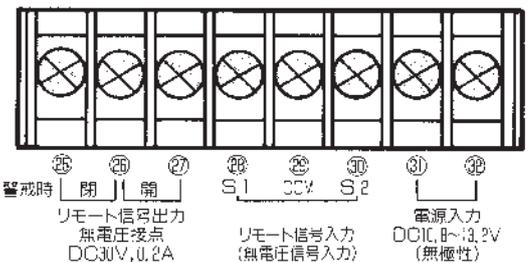
(付属品)



## 4. 端子の説明



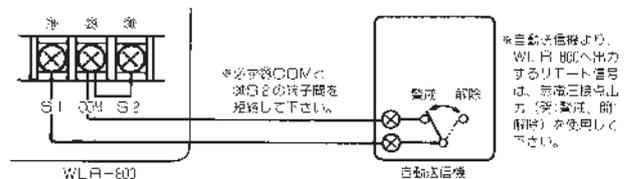
- 総合出力（端子①、②）  
：ループ1～8の代表（OR）出力です。総合出力設定（P9.9～7参照）により個別ループの代表削除が出来ます。
- 個別（1～8）ループ出力（端子③～⑧）  
：ループ毎に無線送信器からの動作信号\*※1に連動して出力します。接点出力時間は2秒以上（センサ連動）です。又、ループ内でのアンド出力（P9.9～8参照）も設定出来ます。
- タンパ出力（端子⑩～⑪）  
：無線送信器のタンパ信号\*※3を受信して出力します。送信器のタンパが復帰すると、出力も復帰します。
- 通信異常出力（端子⑫～⑬）  
：スーパーバイズド機能（P8.9～3参照）を使用しているときに、通信（スーパーバイズド）異常（P11.9～13参照）を起こすと、出力します。異常を起こした無線送信器からの電波を受信すると、出力は復帰します。
- ローバッテリー出力（端子⑭～⑮）  
：無線送信器のローバッテリー信号を受信すると出力します。送信器のバッテリー電圧が正常になってからの電波を受信すると、出力は復帰します。
- リモート信号出力（端子⑯～⑰）  
：リモート信号入力（端子⑳～㉑）の状態により出力します。  
※注) 2
- リモート信号入力（端子⑳～㉑）  
：自動送信機（認定品）もしくはカードリーダー、キースイッチからの警戒/解除信号によってアラームメモリ（P10.9～10参照）の起動リセットが出来ます。
- 電源入力（端子㉒～㉓）  
：WLR-800には非常（停電 etc.）用電源が内蔵されておりませんので、供給電源での非常用対策を行って下さい。



### 電気通信回線設備への接続

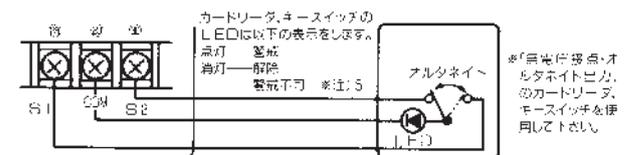
この無線装置は自動送信機等（技術基準適合認定品に限りませず。）を介して電気通信回線設備に接続して使用するものです。自動送信機等（認定品）への接続は、WLR-800の無電圧接点出力端子を自動送信機等（認定品）のセンサ入力端子等へ接続して御使用下さい。

### 自動送信機（認定品）よりリモート信号を入力する場合



自動送信機より、リモート信号を入力する場合は、正常にご使用いただく為に、上図の様に、接続した後、自動送信機を“警戒”にして、WLR-800の“GPU・リセットボタン（P11.9～17参照）”を押して下さい。

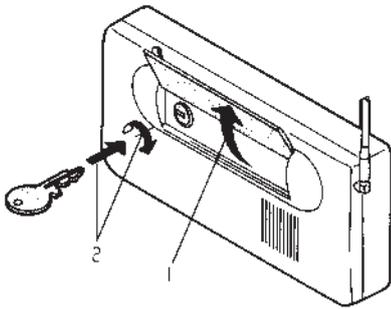
### カードリーダー・キースイッチよりリモート信号を入力する場合



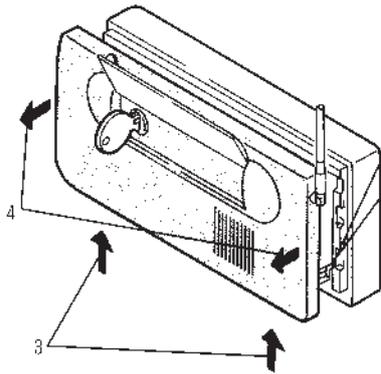
- ※注) 1. 接点出力のN.C./N.O.切替は出力切替スイッチにて、各出力毎（タンパ出力は除く）に、設定します。接点出力N.C.選択時は、停電したときに出力が反転（OPEN）します。
- ※注) 2. 注) 3. WDT-515Ⅲ, WTM-100Ⅲのタンパ信号は、WLR-800では、動作信号として受信します。
- ※注) 4. リモート入力端子（㉒, ㉓, ㉔）が全て“閉”もしくは“開”のときには、警戒信号を出力します。
- ※注) 5. 警戒不可とは、送信器（センサ）が警戒にはいれない（窓が開いている etc.）ループがあることをいいます。このときは、該当するループの点検を行い、警戒になれる状態にしてから、メモリ解除紐を押して、カードリーダー、キースイッチの操作をして下さい。

## 5. フロントパネルの開閉方法

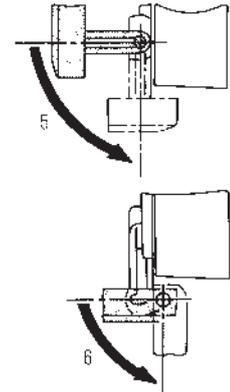
### 開け方



1. フタを開く
2. カギをカギ穴に差し「開」の方向へまわす。  
(カギは抜けません。)

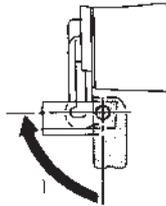
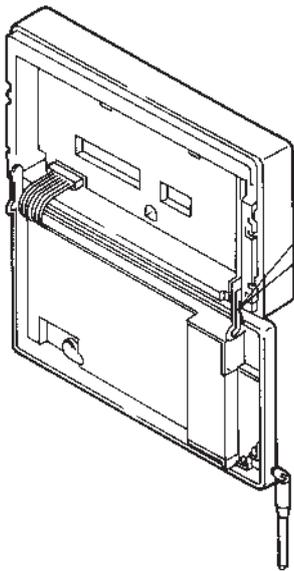


3. フロントパネル下部両端を押し上げる(約3%)。
4. フロントパネルを前方(手前方向)に真直ぐ引き出す。(約30%)。

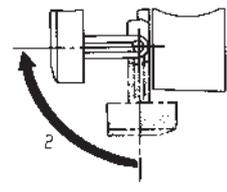


5. 本体とヒンジの接続部を90°回転させる。
6. フロントパネルとヒンジの接続部を90°回転させる。

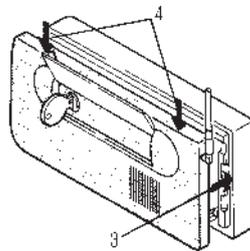
### 閉じ方



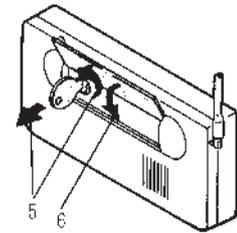
1. フロントパネルとヒンジの接続部を90°回転させる。



2. 本体とヒンジの接続部を90°回転させる。

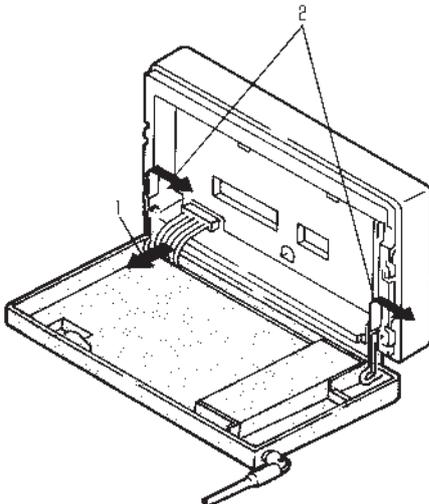


3. フロントパネルを本体方向へ、本体とパネルの合う所まで、真直ぐはめこむ。
4. フロントパネルの上部両端を押し下げ、パネルをスライドさせる。



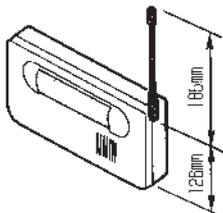
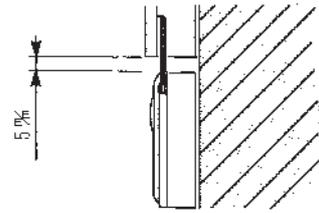
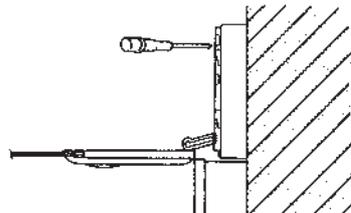
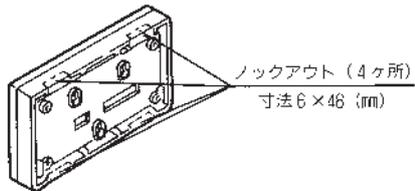
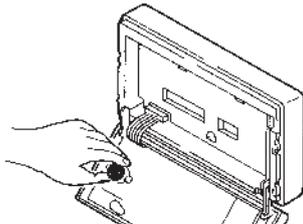
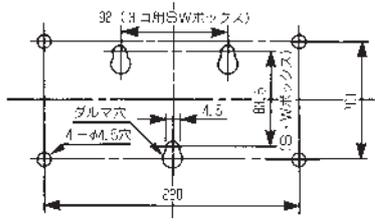
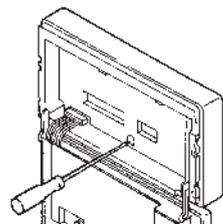
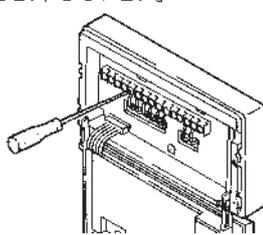
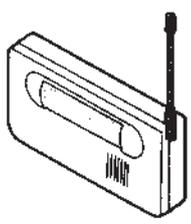
5. カギを「閉」の位置にもどし、カギ穴より引き抜く。
6. フタを閉じる。

### 外し方



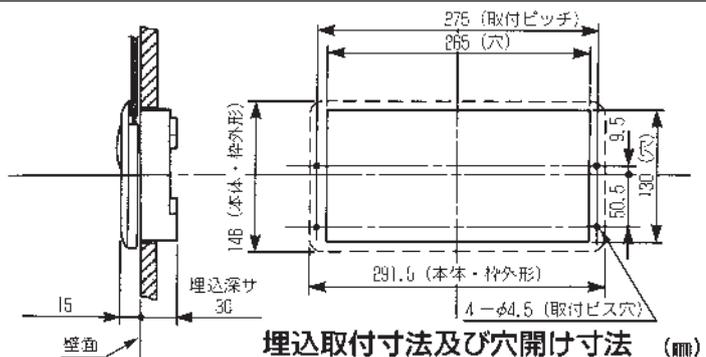
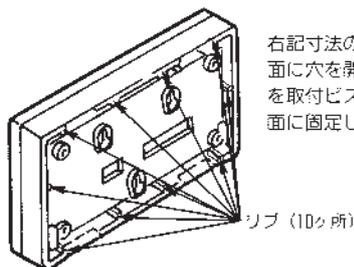
1. フロントパネルと本体とを接続している線の本体側のコネクタを抜いて下さい。
2. ヒンジが、左図の矢印の様に移動する様に、フロントパネル全体を、機器の上方へ押し上げ、右へずらして下さい。ヒンジと本体の接続部が外れます。

## 6. 施工方法

- 
- 
- 
1. アンテナを立てて、じゃまにならない場所を選んで下さい。
  2. フロントパネルの開閉の為、WLR-800の上部に、他の機器とのスキ間を5%以上あけて下さい。
  3. WLR-800の下部に他の機器を設置される場合は、フロントパネルと本体を分離せずに設置して下さい。
- 
- 
- 
4. 露出配線をされる場合には、本体のノックアウト部をニッパなどで破って下さい。
  5. フロントパネルの内側に必ず、バックアップ用のリチウム乾電池(P11.9-16参照)をセットして下さい。
  6. 取付ピッチは上記を参照して下さい。
- 
- 
- 
7. フロントパネルを開き、本体を壁面に、ビス止めて下さい。
  8. 端子への配線(P5.参照)を行って下さい。このとき余った配線は、本体と壁面との間の配線スペースに入れて下さい。
  9. スイッチの設定・動作確認(P8.~P12.参照)が終了しましたら、フロントパネルを閉じ、アンテナを立てて下さい。

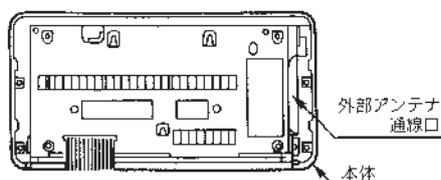
## 7. 埋込取り付け

埋込取り付けをする際には、WLR-800の本体裏面のリブ10ヶ所をニッパ、カッターナイフ等でカットして下さい。本体外周の側壁が外れ、埋込形状になります。

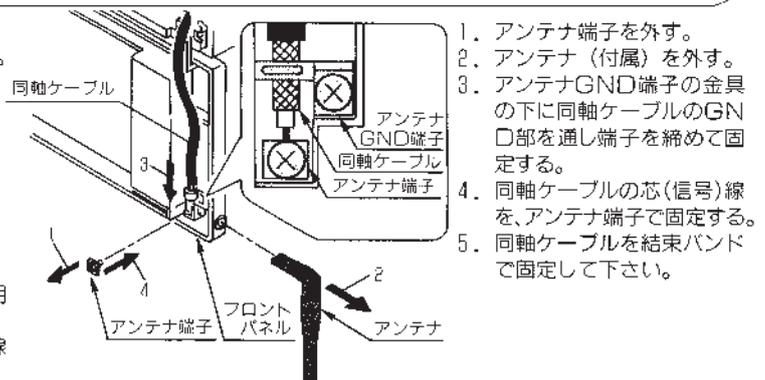


## 8. アンテナの接続

周囲の環境により、電波の届きにくい場合は、電波が受信出来る所に外部アンテナを設置し、WLR-800と接続して下さい。



- (ご注意)
1. 配線は同軸ケーブル (3C2V) を御使用下さい。
  2. ケーブルは必ず、本体の外部アンテナ通線口より、通線して下さい。



## 9. 機能と設定

### 9-1. システムコード

○他のワイヤレスセキュリティシステムとの混信防止の為のコードの設定機能です。

システムの設置時には、混信防止の為、システムコードを出荷時と違う設定にして御使用下さい。混信する場合には、システムコードの変更（送信器・受信器全て）を行って下さい。



システムコードの8番目のスイッチは、必ずONでご使用下さい。

#### ご注意

送信器と受信器のシステムコードは、必ず同じ設定にして下さい。又、システムコードの8番目のスイッチは、必ず“ON”でご使用下さい。

### 9-2. 8ループ管理

○送信器からの信号により、送信器を1～8のループに分けて管理することができます。

送信器のモードスイッチとゾーンスイッチの組み合わせにより、WLR-800で受信出来るループNoが決まります。

		モード設定スイッチ	
		B (在宅警戒) モード	C (外出警戒) モード
ゾーン スイッチ	Z1	ループ1	ループ5
	Z2	ループ2	ループ6
	Z3	ループ3	ループ7
	Z4	ループ4	ループ8

表の見方 例) 送信器 (Cモード+Z3) WLR-800 (ループ7)

#### ご注意

送信器のスイッチの設定部で複数設定の出来るスイッチの場合でも、複数設定は行わないで下さい。



### 9-3. スーパーバイズド (定時送信管理) 機能

○無線送信器の通信状態の管理と、受信出来る送信器の限定（最大15台）を行なう機能です。

一定時間（約60分）ごとに送信器が電波を送信します。



受信器は、電波が送信されてきたことを記憶します。（スーパーバイズド送信は人体を検知した場合の信号とは異なりますので「9-6. 個別ループ出力・9-7. 総合出力 (P9.)」は、出力しません。

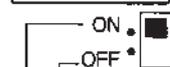
もしも、送信器からのスーパーバイズド送信がなかったら...

○送信器に異常が起こり、電波を送信していない。  
○送信器から送信されている電波が受信器に届いていない。



受信器は送信器から電波が送信されてこないで送信器に異常が起こったと判断します。（「9-13. 通信異常出力 (P11.)」参照）

#### スーパーバイズド



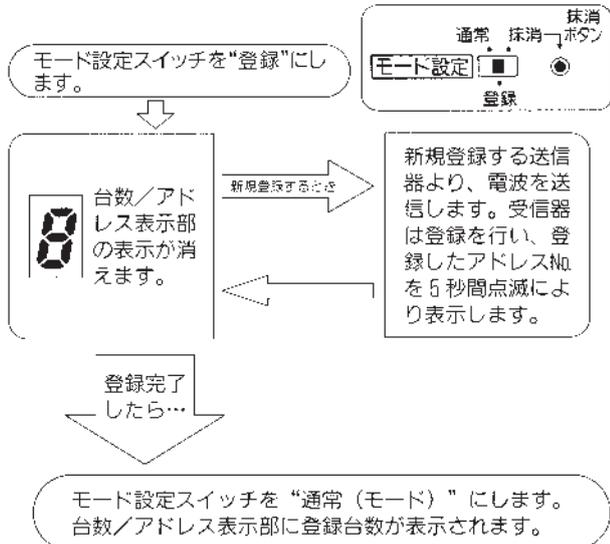
スーパーバイズドスイッチにより、機能設定します。

- スーパーバイズドしません。
- 「9-1. システムコード (P8.)」が一致する全ての送信器からの信号を受信します。
- 「9-13. 通信異常出力 (P11.)」が出力出来ません。
- スーパーバイズドします。
- 「9-4. 送信器の登録 (P9.)」(最大15台)をした送信器しか受信しません。(混信防止効果が更にあがります。)
- 「9-13. 通信異常出力 (P11.)」が出力出来ます。

## 9-4. 送信器の登録

○スーパーバイズドする送信器を登録(最大15台)します。

WLR-800は送信器の追加登録が出来ます。

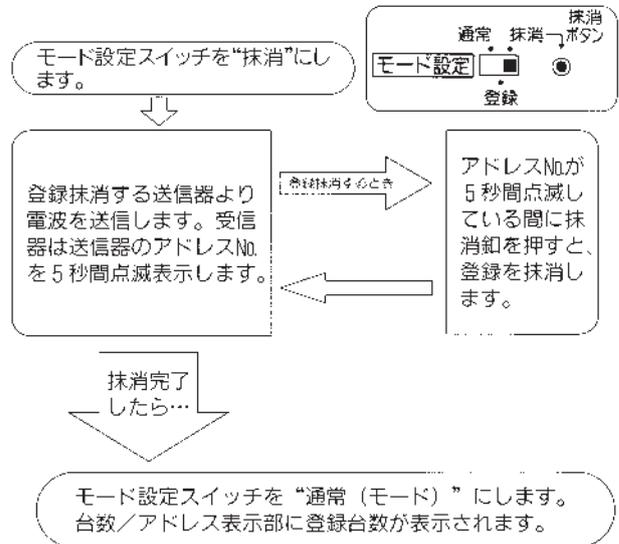


- 注) 1. 台数/アドレス表示部には、登録数(“通常”時・点灯保持)とアドレスNo(全モードで受信時点滅)を表示します。  
 注) 2. 登録数及びアドレスNoの表示は、数字の0~9はそのまま表示します。  
 10~15は、右記の通りアルファベット表示です。  
 注) 3. アドレスNoを表示している時に、フロントパネル表面のループ表示灯も該当する表示灯が点滅(5秒)します。  
 注) 4. “登録”、“抹消”モード時は、受信器の全ての接点出力は、出力状態になります。

## 9-5. 送信器の(登録)抹消

○登録されている送信器の登録抹消を行います。

WLR-800は送信器の個別登録抹消が出来ます。



## 9-6. 個別ループ出力

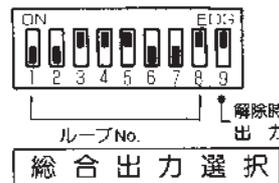
○ループ1~8の個別出力(ループ表示灯(8個・P12,10章参照)と無電圧接点出力(端子③~⑩・P5,4章参照)です。

「9-8. アンド出力機能(P9.)」を設定することが出来ます。

## 9-7. 総合出力

○個別ループ出力1~8の総合(OR)出力(無電圧接点出力(端子①, ②・P5,4章参照)です。

総合出力設定スイッチにより、ループの選択区(警戒)解除時の出力のON/OFFの選択が出来ます。



総合出力で出力したいループのNoのスイッチを“ON”  
 出力したくないループのNoのスイッチを“OFF”  
 解除時出力したくなければNo.9のスイッチを“OFF”

## 9-8. アンド判別機能

○同一ループ内でのアンド判別を行なう機能です。(ループとループのアンドではありません。)

アンド判別を行なうことにより、出力の信頼性を高めることが出来ます。

ループ毎の機能設定が出来ます。  
 アンド(判別)タイマは、30秒の固定です。  
 アンドスイッチにより機能設定します。



アンド判別条件は下記になります。

9-3. スーパーバイズドを使用しないと

①同一ループからの信号を30秒以内に2回以上受信。

9-3. スーパーバイズドを使用して

①同一ループ内に送信器が1コ  
 ↓  
 30秒以内に2回以上受信。  
 ②同一ループ内に送信器が2コ以上

↓  
 30秒以内に2コ以上の送信器からの受信

## 9-9. 強制ループ機能

- WLR-800の総合・個別ループ出力が発報（センサ送信器の誤動作・故障 etc.）状態のときに、強制的にWLR-800で出力をOFFにする機能です。

この機能を使用している時は、フロントパネル表面の強制ループ表示灯（P13.10-7参照）が点灯することにより、表示されます。

強制ループスイッチにより、機能設定します。



（強制ループを行うループNo.のスイッチを“ON”にして下さい。）

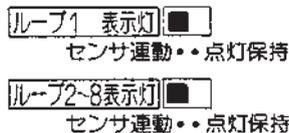
## 9-10. アラームメモリ

- ループ出力毎の警報（アラーム）状況を記憶（メモリ）・表示する機能です。

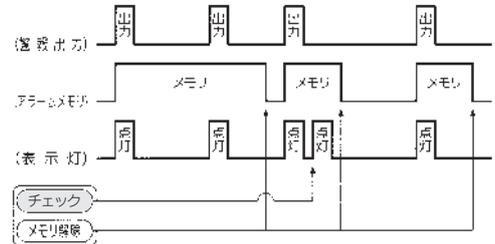
表示/リセットの方法は以下の4通りあります。

### ①アラームメモリ表示をマニュアル呼出、リセットをマニュアル・セットする場合。

- 表示灯設定スイッチを左の様に設定します。

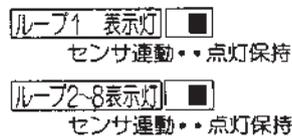


- チェックボタンを押すことにより、警報を出力した、ループNo.の表示灯が点滅表示をし、10秒後に表示は消えますが、メモリ解除ボタンを押さない限り、チェックボタンで何度でも呼び出せます。
- メモリ解除ボタンを押すと、アラームメモリが消去されます。

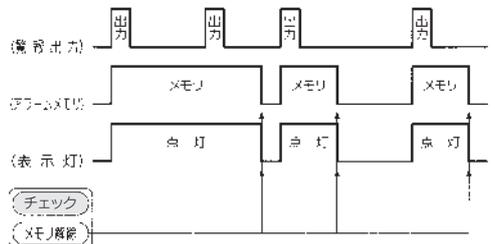


### ②アラームメモリ表示を点灯保持、リセットをマニュアル・セットする場合

- 表示灯設定スイッチを左の様に設定します。



- アラームメモリは、警報が出力すると同時に出力されたループNo.の表示灯が点灯保持をすることにより表示されます。
- メモリ解除ボタンを押すと、アラームメモリが消去され、ループ表示灯の点灯保持が消去します。

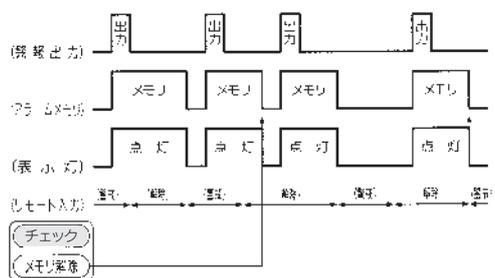


### ③アラームメモリ表示を点灯保持、リセットを外部からのリモート・セットする場合

- 表示灯設定スイッチを左の様に設定します。

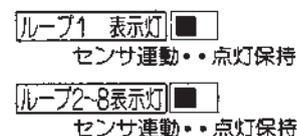


- リモート入力端子（P5.4章参照）へ自動送信機（認定品）等からの警戒/解除信号を入力します。
- アラームメモリは上記②と同様です。
- アラームメモリは、リモート入力信号が解除から警戒に変わると消去され、ループ表示灯の点灯保持が消灯します。
- メモリ解除ボタンでもアラームメモリの消去が出来ます。

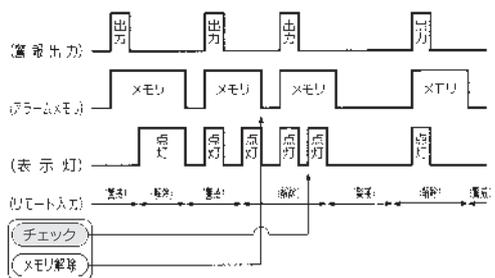


### ④アラームメモリ表示を外部からのリモート呼出、リセットを外部からのリモート・セットする場合。

- 表示灯設定スイッチを左の様に設定します。



- リモート入力端子（P5.4章参照）へ自動送信機（認定品）等からの警戒/解除信号を入力します。
- アラームメモリの表示は、リモート入力信号が警戒から解除に変わると、ループ表示灯が点灯保持します。
- アラームメモリの消去は上記③と同様です。
- チェックボタン、メモリ解除ボタンでも上記①と同様、アラームメモリの呼び出しと消去が出来ます。



## 9-11. タンパ異常出力

- 送信器へのイタズラ検知を行う機能です。

送信器のカバーや本体をはずすとタンパ異常表示灯 (P12, 10章参照) の点灯とともに、無電圧接点出力 (P5, 4章端子⑩⑪参照) します。

「9-15. チェック機能 (P11.)」により該当送信器の使用されているループNoを特定することが出来ます。出力の復帰は、カバーや本体を正常にはめると、復帰します。

\*WDT-515Ⅲ, WTM-100Ⅲのタンパ異常は出力しません。(P3, 4章、注) 2, 注) 3, 参照)

## 9-13. 通信異常出力

- 送信器との通信不能 (送信器の盗難、故障、電波環境の悪化 etc.) 状態を知る為の機能です。

スーパーバイズドを使用しているときに、一つの送信器からの信号を150分以上受信出来ない場合に通信異常表示灯 (P12, 10章参照) の点灯とともに無電圧接点出力 (端子⑩, ⑪・P5, 4章参照) します。

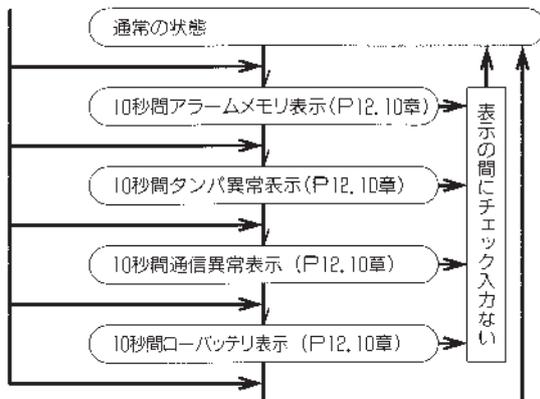
「9-15. チェック機能 (P11.)」により該当送信器の使用されているループNoを特定することが出来ます。出力の復帰は、受信出来なかった送信機からの信号を受信すると復帰します。

## 9-15. 異常チェック機能

- アラームメモリ、タンパ異常、通信異常、ローバッテリーについて、該当する送信器のループNoを呼び出す機能です。

チェック

チェックボタンを押す度に、下記の表示を順番に呼び出します。



## 9-12. ローバッテリー出力

- 送信機の電池の交換時期を知る為の機能です。

電池電圧が低下している送信器の信号を受信するとローバッテリー表示灯 (P12, 10章参照) の点灯とともに無電圧接点出力 (端子⑩, ⑪・P5, 4章参照) します。

「9-15. チェック機能 (P11.)」により、該当送信器の使用されているループNoを特定することが出来ます。出力の復帰は送信器の電池電圧が正常になってからの信号を受信すると復帰します。

## 9-14. 通信管理解除機能

- 送信器からの信号が150分以上受信出来なくても「9-12. 通信異常 (P11.)」を出力しないループを設定する機能です。

(警備対象が移動体 (人、車 etc.) の場合、この機能設定をしたループで受信すると、不要な通信異常は出力しません。)

通信管理解除スイッチにより、機能設定します。



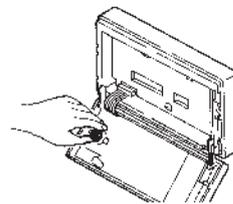
(通信異常出力を行なわないループNoのスイッチを“ON”にして下さい。)

\* 9番目のスイッチはOFFにして下さい。

## 9-16. メモリバックアップ機能

- 電源OFF (停電 etc.) 時にも電源OFFになる前の情報 (送信器の登録、アラームメモリ、通信異常、タンパ異常、ローバッテリー etc.) を記憶する機能です。

リチウムボタン電池 (型番: CR2032) によりバックアップしています。リチウムボタン電池は、停電の有無に関らず、8年毎に交換して下さい。



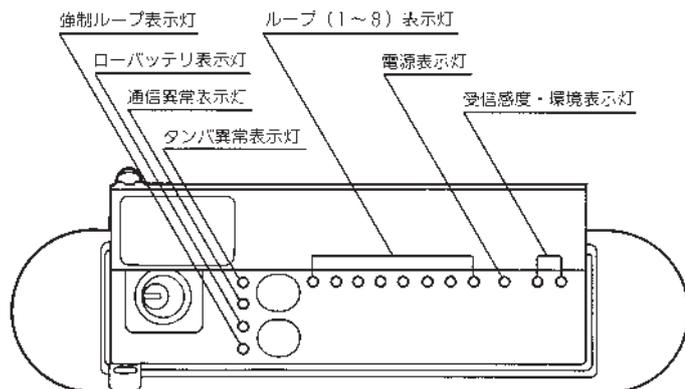
## 9-17. CPU・リセット機能

- WLR-800のメモリ内容をリセット (出荷時状態に) する機能です。



リセットするときには、先端のとがっていない細い物でCPU・リセットボタンを押して下さい。

## 10. 表示灯の説明



### 10-2. 受信感度・環境表示灯

- 送信器からの電波の受信状態と周囲の環境状態をあらわします。

送信器から電波を送信したときに

- ①-a. “強度 (緑色)” が点灯 → 受信している電波の強度は充分である。
- ①-b. “強度 (緑色)” が点滅 → 受信している電波の強度に余裕がない。
- ②-a. “環境 (緑色)” が点灯 → 周囲の環境は良好である。
- ②-b. “環境 (緑色)” が点滅 → 周囲の環境ノイズが多い。
- ③ どちらも点灯しない → 受信していない。

### 10-4. タンバ異常表示灯

- 送信器のタンバ異常 (P11.9-11 参照) をあらわします。

- ① 点灯 → システムのタンバ異常状態を示します。  
(チェックボタンを数回押すと)
- ② 点滅 → ループ表示灯と一緒に点滅して異常送信器の該当ループを表示しています。

### 10-6. ローバッテリー表示灯

- 送信器のローバッテリー (P11.9-12 参照) をあらわします。

- ① 点灯 → システムのローバッテリー状態を示します。  
(チェックボタンを数回押すと)
- ② 点滅 → ループ表示灯と一緒に点滅して異常送信器の該当ループを表示しています。

### 10-1. 電源表示灯

- 受信器への電源供給とシステムの警戒/解除の状態をあらわします。

- ① 緑色もしくは赤色点灯しているとき
  - WL R-800 に電源が供給されていることを示しています。
- ② 緑色点灯しているとき
  - リモート入力端子 (P5.4 章) を使用しているときに、システムが (警戒) 解除 (リモート出力端子 (P3.4 章) が解除信号を出力) であることを示します。
- ③ 赤色点灯しているとき
  - リモート入力端子 (P5.4 章) を使用しているときに、システムが警戒中 (リモート出力端子 (P5.4 章) が警戒信号を出力) であることを示します。
  - リモート入力端子を使用していないときは通常、赤色点灯 (電源モニタ) です。

### 10-3. ループ (1~8) 表示灯

- 個別ループ毎の状態をあらわします。

- ① 点灯しているとき
  - アラームメモリ (P10.9-10-②~④ 参照) の該当ループを表示しています。
  - ループ毎の受信 (時、点灯) 及び接点出力 (時、点灯) を表示しています。
- ② 点滅 (ループ表示灯だけ) しているとき
  - アラームメモリ (P10.9-10-①~④ 参照) の該当ループを表示しています。
- ③ 点滅 (他の表示灯と一緒に) しているとき
  - 異常 (P12.10-4~6 参照) を起こしている送信器の該当ループを表示しています。

### 10-5. 通信異常表示灯

- 送信器の通信異常 (P11.9-13 参照) をあらわします。

- ① 点灯 → システムの通信異常状態を示します。  
(チェックボタンを数回押すと)
- ② 点滅 → ループ表示灯と一緒に点滅して異常送信器の該当ループを表示しています。

### 10-7. 強制ループ表示灯

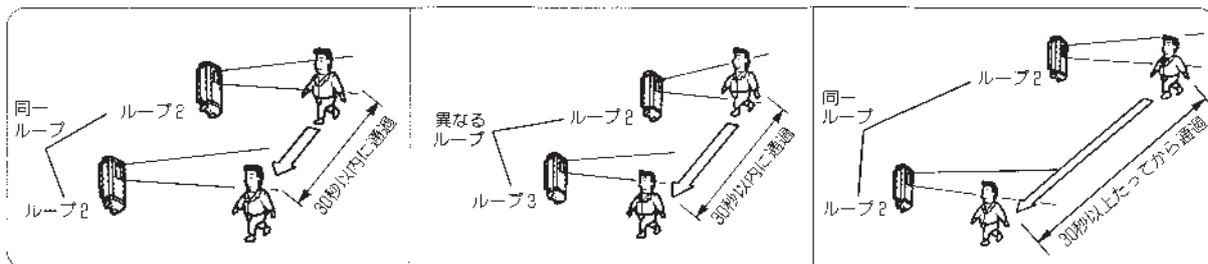
- 強制ループ機能 (P10.9-9 参照) の状態をあらわします。

- ① 点灯 → 強制ループを使用していることを示します。

## 11. 動作確認方法

受信器の取り付け、配線および各種スイッチ設定がすべて完了しましたらつぎの要領で動作確認をおこなってください。

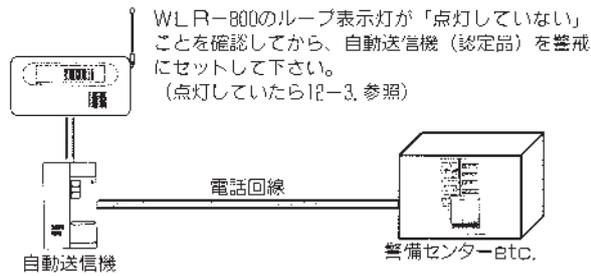
- ① 電源が入っているかどうか確認して下さい。
- ② スーパーバイズ機能を使用される場合は送信器の登録がされているか、確認して下さい。  
(登録台数の確認は、モード設定スイッチが“通常”の設定のときに、台数/アドレスNo表示部 (P9.9-4 参照) で確認出来ます。)
- ③ モード設定スイッチは、“通常”にして下さい。
- ④ 全ての送信器を順番に発報させ、受信感度が十分に得られている (P12.10-2-① 参照) ことを確認して下さい。
- ⑤ アンド判別機能を設定している場合、30秒以内にアンドが成立する条件 (P9.9-8 参照) で設置されているか確認して下さい。



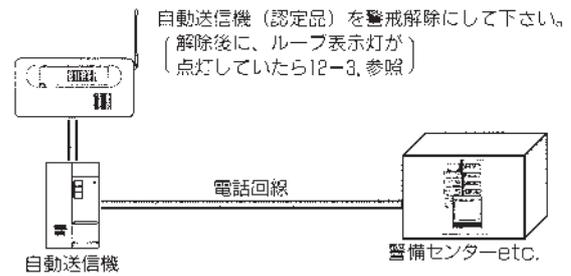
- ⑥ バックアップ用のリチウム電池 (P11.9-16 参照) がセットされていることを確認して下さい。  
(リチウム電池がセットされていないと、受信器の電源が切れたときに、登録されている送信器が、抹消されます。)
- ⑦ アンド設定スイッチ、スーパーバイズスイッチ、通信管理解除スイッチ、(ループ1~8) 表示灯設定スイッチを設定操作した後は、必ず電源投入後、メモリ解除ボタンを押して下さい。

## 12. WLR-800の操作方法

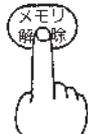
### 12-1. 警備システムの警戒セット



### 12-2. 警備システムの警戒解除

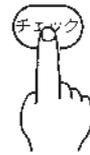


### 12-3. ループ表示灯が点灯

- ① 警報を出したループを示しています。  
(内部設定で表示灯・点灯保持もしくはリモート信号入力使用のときのみ)
- [表示灯を消したい場合]**  
点灯しているループ（アラームメモリ）の確認してから、  
**メモリ解除ボタン**を押して下さい。  
(アラームメモリの内容も一緒に消えます。)
- 
- [それでも、表示灯が点灯している場合]**  
② 送信器（センサ）が動作状態（警戒セット不能）であることを示しています。  
警戒セットをする前に、表示ループの点検を行って下さい。

### 12-4. アラームメモリ表示呼び出し

**[アラームメモリの有無を確認したい場合]**



**チェックボタン**を1回押して下さい。

ループ表示灯だけが点滅（タンパ異常・通信異常・ローバッテリーの各表示灯は点滅しない）状態であれば、その表示されたループに、アラームメモリが有ることを示しています。

この表示は10秒間点滅後、自動的に通常状態に復帰します。（アラームメモリ表示（点滅）は消えますが、メモリ内容は消えませんのでチェックボタンで再表示（点滅）できます。）

### 12-5. タンパ異常表示灯が点灯

送信器のタンパが働いて（本体、カバーが開いて）いることを示しています。

**[タンパ異常の該当ループ表示を呼び出す場合]**

タンパ異常表示灯が点滅するまで



**チェックボタン**を数回押して下さい。

タンパ異常表示灯と同時に点滅しているループ表示灯がタンパ異常ループです。

この表示は10秒間点滅の後、自動的に通常状態に復帰します。

**[表示灯（点灯）を消したい場合]**

この表示灯は送信器のタンパ異常が正常になることにより消灯します。

### 12-6. 通信異常表示灯が点灯

送信機からの通信が受信出来なくなった（電波環境の悪化 etc.）ことを示しています。

**[通信異常の該当ループ表示を呼び出す場合]**

通信異常表示灯が点滅するまで



**チェックボタン**を数回押して下さい。

通信異常表示灯と同時に点滅しているループ表示灯が通信異常ループです。

この表示は10秒間点滅の後、自動的に通常状態に復帰します。

**[表示灯（点灯）を消したい場合]**

この表示灯は送信器からの通信を再度、受信することにより消灯します。  
又、メモリ解除ボタンを押しても、消灯します。

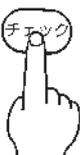


### 12-7. ローバッテリー表示灯が点灯

送信器の電池の電圧が低下していることを示しています。

**[ローバッテリーの該当ループ表示を呼び出す場合]**

ローバッテリー表示灯が点滅するまで



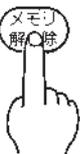
**チェックボタン**を数回押して下さい。

ローバッテリー表示灯と同時に点滅しているループ表示灯がローバッテリーループです。

この表示は10秒間点滅の後、自動的に通常状態に復帰します。

**[表示灯を（点灯）を消したい場合]**

この表示灯は送信器の電池電圧が正常になってからの通信を再受信することにより消灯します。  
又、メモリ解除ボタンを押しても、消灯します。



### 12-8. 強制ループ表示灯が点灯

強制ループを使用していることを示しています。

**[強制ループの確認をする場合]**

フロントパネルを開いて“強制ループスイッチ”の確認をして下さい。設定が“ON”のループが強制ループを使用しています。

**[表示灯を消したい場合]**

フロントパネルを開いて“強制ループスイッチ”を全て“OFF”にして下さい。

### 12-9. 各種設定スイッチの設定(変更)をした後…



WLR-800の内部の設定スイッチを操作した後は、必ず電源投入後にメモリ解除ボタンを押して下さい。

## 13. 異常時の点検について

状 態	原 因	点 検 と 処 置
外部への連絡を行わない。	・自動通報装置は動作していますか？	・受信器と自動通報装置の接続が正しく行えているか確認して下さい。
電源表示灯が点灯しない。	・電源装置より電源が供給されていない。	・配線及び電源の確認をして下さい。
N.C.に設定している接点出力が全て開いている。	・電源が供給されていない（停電中）。 ・モード設定スイッチが“登録”もしくは、“抹消”になっている。	・電源を供給して下さい。 ・モード設定スイッチは“通常”で使用して下さい。
ループ表示灯が点灯保持。	・アラームメモリの表示をしている。  ・システム中の送信器（接続しているセンサ）が動作状態（戸開り不完全 etc.）になっている。	・点灯しているループの確認をしてから、メモリ解除ボタンを押すと、表示灯が消灯します。 ・点灯しているループの点検をして、送信器（接続しているセンサ）の動作を停止させて下さい。
タンパ異常表示灯が点灯している。	・システム中の送信器のタンパ（イタズラ検知）機能が働いて（カバー、本体が外れて）いる。	・この取説のP13.12-5に従って、送信器が正常であることを確認してから、カバー本体を閉じて下さい。
通信異常表示灯が点灯している。	・警備対象が移動して電波が届かない。  ・電波の環境が悪化している。	・警備対象が警戒解除中に電波が届かない所へ移動する場合、該当するループの通信管理解除スイッチを“ON”に設定して、メモリ解除ボタンを押して下さい。 ・受信強度表示灯と受信環境表示灯が共に“安定（点灯）”表示される所に設置して下さい。
ローバッテリー表示灯が点灯している。 （もしくは点灯と消灯を不規則にくり返す。）	・送信器の電池電圧が低くなっている。 （送信器の電圧が不安定になっている。）	・点灯し（消灯を不規則にくり返し）始めてから1ヶ月以内に、送信器の電池を交換して下さい。 又、電池交換後は必ず動作確認をして下さい。
強制ループ表示灯が点灯している。	・強制ループ機能を使用している。	・強制ループスイッチが“ON”になっているループの異常を改善した後強制ループスイッチを全て“OFF”にして下さい。
カードリーダ、キースイッチで警戒にセットしようとしても警戒セット出来ない。（表示灯が点灯しない。） （カードリーダ、キースイッチをリモート信号入力端子に接続しているとき。）	・システム中の送信器（接続しているセンサ）が警戒不能状態（戸開り不完全 etc.）になっている。	・WLR-800のループ表示灯で、該当するループを確認してループの点検をして下さい。
停電もしくは受信器の電源をOFFにすると、登録していた送信器が全て抹消される。	・メモリバックアップ機能（リチウムボタン電池CR2032）を使用していない。 ・リチウム電池（CR2032）の寿命	・必ずメモリバックアップ機能を使用して下さい。  ・リチウム電池（CR2032）は8年毎に新品と交換して下さい。
送信器のカバーが開いているのにタンパ異常出力が出力されない。 （代わりにループ出力が出る。）	・送信器がWDT-515Ⅲ、WTM-100Ⅲである。	・WLR-800ではWDT-515Ⅲ、WTM-100Ⅲのタンパ信号は動作（警報）信号として認識しますので、タンパ異常出力は使用出来ません。
WLR-800内部の各種設定スイッチの設定通りにシステムが、動作しない。	・設定（変更）後にメモリ解除ボタンを押し忘れている。	・設定（変更）を行ったときには必ず動作確認（P12.11章参照）を行って電源投入後、メモリ解除スイッチを押して下さい。
送信器（センサ）が送信（検知）しているのにWLR-800が出力しない。  ループ表示灯も点灯しない。	・システムコードが送信器と受信器で異なる。 （送信器のシステムコードの8番目のスイッチがOFF）  ・（スーパーバイズド使用時）送信器の登録が出来ていない。 ・（スーパーバイズド使用時）送信器の登録後に送信器のスイッチが設定変更されている。  ・電波が届いていない。  ・強制ループ機能を使用している。	・システムコードは同じシステムで全て同一にして下さい。 （システムコードの8番目のスイッチは“ON”にして下さい。） ・スーパーバイズドを使用するときは必ず、使用する送信器を全て登録（P9.9-4参照）して下さい。 ・スーパーバイズドを使用するときは、送信器の登録後に送信器のスイッチの設定変更はしないで下さい。変更する場合は変更する送信器を登録抹消（P9.9-5参照）してから、スイッチの設定を変更して再登録して下さい。 ・受信強度表示灯と受信環境表示灯が共に“安定（点灯）”を表示される所に設置して下さい。 又、外部アンテナを接続（P7.8章参照）して下さい。 ・強制ループスイッチが“ON”になっているループの異常を改善した後、強制ループスイッチを全て“OFF”にして下さい。
ループ表示灯は点灯する。	・アンド機能を使用している。	・30秒以内にアンドが成立する条件（P9.9-8参照）で送信器を設置して下さい。
送信器（センサ）が送信（検知）していないのにWLR-800が出力する。	・近くに同一システムコードのワイヤレスセキュリティシステムが設置されている。（他のシステムと混信している。）	・システムコードを変更する。又はスーパーバイズド機能（P8.9-3参照）を使用して下さい。



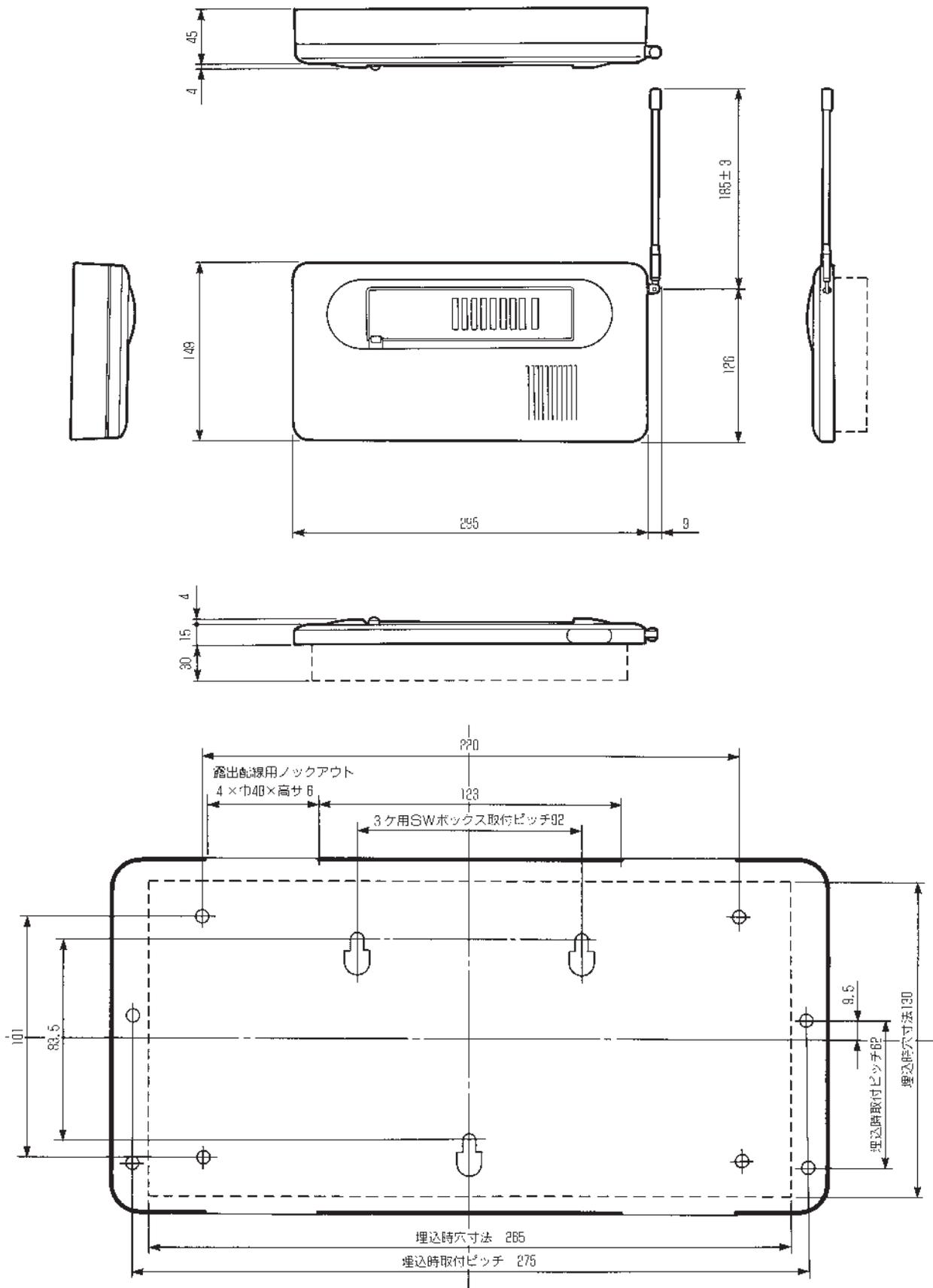
# 15. 仕 様

小電力セキュリティシステムの無線設備 WLR-800(受信器・主装置)		
電源電圧	DC10.8~13.2V	
消費電流	400mA (最大)	
メモリバックアップ用電源	リチウム鉛電池 (型番: CR2032) 寿命8年	
標準受信距離	100m(周囲の状況により距離が短くなる場合があります)	
使用周波数	426MHz帯	
電波型式	F2D	
無線入力	8ループ	
有線入力	リモート信号 (無電圧接点)	
無電圧接点 リレー出力	警報総合出力	1個、抵抗負荷 DC28V, 0.2A (N.C./N.O.切換)
	警報個別ループ出力	8個、抵抗負荷 DC28V, 0.2A (N.C./N.O.切換)
	タンパ異常出力	1個、抵抗負荷 DC28V, 0.2A (N.C.)
	通信異常出力	1個、抵抗負荷 DC28V, 0.2A (N.C./N.O.切換)
	ローバッテリー出力	1個、抵抗負荷 DC28V, 0.2A (N.C./N.O.切換)
	リモート信号出力	1個、抵抗負荷 DC28V, 0.2A (1C出力)
表示灯	電源表示灯	通電時点灯 (リモート信号入力のみモニタも兼ねる:赤色→警戒、緑色→解除)
	受信強度表示灯	安定:緑色点灯、不安定:緑色点滅
	受信環境表示灯	安定:緑色点灯、不安定:緑色点滅
	ループ表示灯	受信時 赤色点灯 異常表示時 赤色点滅
	タンパ異常表示灯	送信器のタンパ異常時 赤色点灯 ループ呼出し時 赤色点滅
	通信異常表示灯	通信異常時 赤色点灯 ループ呼出し時 赤色点滅
	ローバッテリー表示灯	送信器の電池電圧低下時 赤色点灯 ループ呼出し時 赤色点滅
	強制ループ表示灯	強制ループ使用時 緑色点灯
警報接点出力時間	約2秒~センサの状態に連動	
使用温度範囲	-10°C~+40°C	
設置場所	屋内	
シリンダ錠	有	
質量	920g	
付属品	カギ 2個 リチウムボタン電池 1個 取付ビス タッピングネジ 4本 場所表示シール	

※仕様は予告なく変更することがありますので、予め、ご了承下さい。

# 16. 外形寸法図

単位：mm



取付寸法図

## WLR-800 保証書

お客様 (〒 ) ご住所 (TEL . . . ) お名前	保証期間 ※お買い上げ年月日 . . . . . 日より  <b>1 年間</b>
販売店名 *	(お願い) ○※印の欄はお買い上げ時に必ず記入を受けて下さい。記入無き場合、本書は無効となります。 ○本書は大切に保存して下さい。再発行はいたしません。

### 〈保証規定〉

- I. 保証の範囲
1. 取り扱い説明書に記載された正常な使用状態で、保証期間中に万一故障を起こした場合、無償にて修理いたします。お買い上げ店もしくは弊社へ本書を添えてお申し付け下さい。
2. この保証は前面に記載された製品について、日本国内に限り適用いたします。
- II. 保証の条件
- 次に該当する故障は、保証期間(お買い上げ日より1年間)であっても実費にて修理を申し受けることがあります。
1. 誤った取り扱い、不当な修理・改造を受けた製品の故障。また故障・不注意による損傷に起因する故障。
2. 災害など不可抗力による損傷。
3. 本書前面に必要事項の記入が無い場合、また本書の提示がない場合。

## オプテックス株式会社

本社: 〒520-0101 滋賀県大津市雄琴5丁目8番12号  
TEL (077) 579-8620 FAX (077) 579-8170  
東京営業所: 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-14-1 新宿グリーンタワービル19F  
TEL (03) 3344-6476 FAX (03) 3344-5734

お客様ご相談窓口 0120-077-920  
(受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00 土日・祝日および当社祝日を除く)

<http://www.optex.co.jp>

この説明書は、再生紙を利用しております。